発行日: 2026年11月25日

北文化小劇場だより

2027 1月

臨時休館のお知らせ

2027(令和9)年1月4日(月)～3月31日(水)まで　トイレ改修工事・舞台音響設備改修工事のため、ホール・練習室すべての利用を休止します。

[臨時休館中の受付時間] 9:00～17:00　[休館日] 日曜日 ※ただし、1/4（月）、2/1（月）、3/1（月）は休館いたします。

10/14「熊本地震被災地支援コンサート」レポート

音楽の力で被災地を支援しようと、地元名古屋で活躍する音楽家や学生の皆様が集まりチャリティコンサートを開催しました。総来場者数は330人と、平日夜の開催にも関わらずとてもたくさんの方にご来場いただきました。



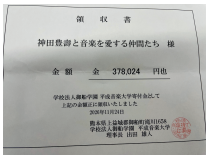


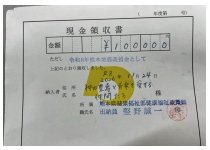
第1部は「Ave Maria」からはじまり、テノール独唱「万霊節 Op.10-8」やピアノ連弾『序曲』、メゾソプラノ独唱「春」、コールアンサンブル「九ちゃんメドレー」などをお届けしました。1部のラストには、志賀中学校合唱部が登場しました。











第2部は明和高等学校合唱部からスタート。ピアノ独奏、二重唱と続き、ビオラ「Time To Say Goodbye」、ソプラノ独唱 『歌に生き愛に生き』 など名曲が披露されました。アンサンブルユニット・MeZasによる「Stand Alone」で本編を締め、盛大なアンコールに応え「故郷」で心に沁みるラストを迎えました。

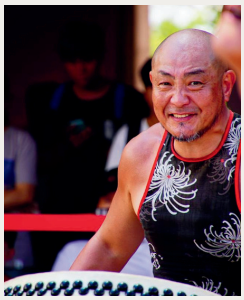
本当にたくさんの方にご来場いただくと共にあたたかいご支援をいただき、集まった義援金は478,024円となりました！義援金は全額、熊本日日新聞・平成音楽大学（熊本県）へ寄付いたしました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

総合建設業 株式会社 原田工務店 052-901-3210
KAWAI NAGOYA ☎:052-962-3939
清酒 金虎 ☎052-981-3960
お料理・仕出し・うなぎ 魚鉄 ☎052-911-1211

伝統文化アドバイザー
連載エッセイ

第45回

和太鼓の力を信じ…それを受け継ぐ



輪太鼓グループ代表
國分 入道光雲 先生

1998年転輪太鼓を創設。
和太鼓に「武道」を融合させることで、和太鼓独特の力強さを、理合の動きからは様式美を醸し出し、さらに「祭」との融合により「万物への感謝」「艶やかさ」「喜怒哀楽」を創り上げる。
和太鼓の演奏力もさる事ながら、歌唱力・MCにも定評がありその容姿と人間性のギャップをキャラクターに、「歌って、喋れる和太鼓会の格闘家」として業界では浸透しつつある。

（2026年9月号の続きです）

もうこれ以上、ごまかすことも、自力で楽譜を解読することもできない…時間がない、そんなとき、子供教室のお母さんの一人がピアノが弾けることを知り、ダメもとで「この楽譜解読できませんか？」と頼んだところ、快く受けて下さり、本当に良かったと思い、無理を承知で、「すいません来週の稽古日までにお願いできますか？」とお願いしたのですが意外にあっさり「いいですよ」と快諾。本当に心の中で「ガッツポーズ！」を何回も繰り返していました。

そして、いよいよ練習日が来ました、渡されたのが一枚のＣＤでした、「ここに曲を録音しておきました！」の一言に「さすが！」もう感動するしかありませんでした。家に帰り早速そのＣＤをパソコンに差し込み、ワクワクしながら聞いてみると…「んん…？なんじゃこれ…？」

太鼓の音ではなく、ピアノの連打の音が永遠に続き何が何だかさっぱり理解できないのです。どうやら、様々なパートを鍵盤の一音づつで表現しているようで、例えば、締め太鼓１はドの音、締め太鼓２はミの音、締め太鼓３はソの音…さらにパートは締め太鼓は５までありますし、さらに後半には、中太鼓・大太鼓のパートも出てきますのでご本人はご理解しているようですが、私としてはもう何が何やら全く分からない状態、ただパソコンのスピーカーから、むなしくピアノの音が響いている状態。

めちゃくちゃ期待していたからこそ、ショックが大きく、さらに落ち込む結果になってしまいました。しかし、善意で解読してくださったお母さんに、「これでは何が何だかわかりません」というわけにもいかず、何とか、すべてのパートを一つずつ、に分けてもらい、もう一度音を作っていただき、ばらばらにしていただく作業をお願いするしかなく、改めて次の週に頭を下げると、さすがに「えっ…」という表情が浮かびましたが、何とか引き受けて下さり次の週に渡してもらいました。

しかしこのやり取りで、もう２週間費やし、ほかの子供の親御さんたちもさすがにしびれを切らしている空気が練習場に漂います。それでも幸い、この作業をお願いした時にこのお母さんから、「先生この曲の、このパートですけど、かなり大変なリズムスピードですよ、ピアノでも弾くの大変ですから、太鼓だともっと大変かも」とのアドバイスをいただきました。

私はそのアドバイスに時間を稼ぐ活路を開くことが出来たのです！

公財団法人 名古屋市文化振興事業団 LINE公式アカウント
友だち募集中
LINE
@LINE

快適以上を、世の中へ。
TOENEC

公財団法人 名古屋市文化振興事業団［北文化小劇場］
〒462-0037　名古屋市北区志賀町4丁目60番地の31
[営業時間] 平日9:00～20:00／土日祝9:00～17:00
[休館日] 月曜日（月曜日が祝休日のときはその直後の祝休日でない日）
052-910-3366（FAX 052-910-3367）
kita@bunka758.or.jp
地下鉄名城線「黒川」下車　4番出口から北へ徒歩12分
市バス「北図書館」バス停下車　東へ徒歩3分
ホームページはこちら

